

「しんぶん赤旗」をお読みください

●日刊紙 月3497円 1部130円 16ページ

●日曜版 月 823円 1部210円 タブロイド判36ページ

お申し込みは、お近くの党事務所、党員、または党中央委員会へ
・党中央委員会 ☎03 (3403)6111 メールアドレス info@jcp.or.jp



2017年特別号外 党大会特集

記事案内

野党と市民の共闘ここに②③
真実伝える国民共同の新聞④

発行所

日本共産党中央委員会

東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
〒151-8586 ☎03(3403)6111

■「赤旗」公式 facebook アカウント 赤旗PR、twitter アカウント @akahata_PR ■ファクス 中央委員会 03(5474)8358 赤旗編集局 03(3350)1904 ■http://www.jcp.or.jp/

野党連合政権は焦眉の課題

「日本の政治の新しい時代」前へ



日本共産党第27回大会に大反響

安倍自公政権とその補完勢力に、野党と市民の共闘が対決する「日本の政治の新しい時代」をいかに前へ動かすか。これを最大の主題に開かれた日本共産党第27回大会（1月15～18日、静岡県熱海市）が、党内外で大きな反響を呼び起こしています。党史上初となった他の野党・会派代表のあいさつをはじめ、「焦眉の課題」として野党連合政権の実現を打ち出した大会の様子は多くのメディアが注目。党大会後開かれている共産党の都道府県党会議でも他の野党が初参加し、野党と市民の共闘を発展させる決意を語っています。

「共産党大会 共闘へ」本題（NHK1月15日放送）
「読売」1月16日付、
「共産」共闘加速を決議へ
他党幹部が初出席（「朝日」）
「自由」小沢一郎代表、社民
同、共産党大会 志位委員長
「野党連合政権は焦眉の課題」
「沖縄の風」の糸数慶子代表が
像を流すとともに、全国紙・

地方紙も「野党連合政権実現
へ」の見出しで大きく報道。
大会取材したあるコラムニ
ストは「共産党が完全に政局
の中心にすわった」と語りま
す。大会後、「サンデー毎日」
2月19日号は今後の野党共闘
など語り合った志位、小沢
両氏の対談を掲載しました。
全国各地で開かれている党
会議も熱気にみち、民進党、
述べました。

日本共産党大会 日本共産党の最高機関です。中央
委員会によって招集され、2年または3年の
あいだに1回開く（党規約第19条）となっ
ています。

野党と市民の共闘の発展を
はじめ、党大会決定は、内外
のあらゆる問題について綱領
の立場でとらえた科学的指針
として生命力を発揮していま
す。

トランプ米新政権につい
て、①軍事的覇権主義②排外
主義③格差と貧困という三
つの角度からその動向をみて
いくことを提起。覇権主義と
排外主義の点ではトランプ政
権の入国禁止令に世界中の批
判が殺到するなど、大会決定
の見方が日々の情勢で明らか
になっています。

また米国防務省など「安
倍外交」の問題点を解明した
点でも、日米首脳会談でその
危険な実態が日々浮き彫りに
なっています。

第27回大会、代議員とともに拳をあげる
（壇上前列左から）糸数、安住、志位、小沢、
吉田の各氏。1月15日、静岡県熱海市

共闘発展 政治必ず変えられる

戦後かつてない野党と市民の共闘が発展するなか
で開かれた日本共産党第27回大会（1月15～18日、
静岡県熱海市）。大会の特徴は今後の抱負について
志位和夫委員長に聞きました。

（聞き手 山本豊彦日曜版編集長）

大会が共闘進める 大きなステップに

「今回の党大会の最大
の特徴についてお聞かせ
ください。」
志位 今度の党大会は、



志位委員長インタビュー

へと動かすかということ
を、最大の主題として開か
れました。
野党共闘をともにたたか
っている民進党、自由党、
社会民主党、参院会派・沖
縄の風の3野党・1会派の
代表を招き、たいへん
に心のこもった素晴らしい
激励のあいさつをしてい
た。委員長の感慨深いも
のがあったのではないで
しょうか。

志位 「これしかない」
と思いを定めて「安保法制
（戦争法）廃止の国民連合
政府」を提案したのは、一
昨年9月19日でした。私自
身、どこまで行けるかわか
らない。未知の領域への
踏み込みでした。

提案した最初の数カ月
は、なかなか進展しませ
ん。国民、市民のたた
かいの強力な後押しと全
党のみなさんの粘り強い
努力で昨年2月19日、5野
党で「安保法制廃止」を
共通の目標とし国政選挙
で協力を行うことで合意
しました。

安倍独裁打ち破る希望ここに



経済評論家 内橋 克人さん
うちばし かつと

野党共闘は、安倍官邸独裁を
打ち破るための唯一の対抗策で
す。ほかにありません。

党大会では、安倍内閣の支持
率がなぜこんなに高いのかも、
踏み込んで「解剖」されてい
る。改憲勢力3分の2体制一
打破のテーマも重要です。官邸
のウソに踊らされている人々
を、目覚めさせる衝動力をさ
らに発揮してほしい。

共産党の決断が、多くの国
民、安倍官邸独裁に不安を持つ
市民への励ましになっていま
す。最近いろんな人と話をす
ると、みんな野党共闘に心から
待っています。共産党への見
方も変わってきました。そこ
に私は希望を見いだしてい
ます。どうぞがんばってください。
熱気をどんどん発信してく
ださい。

（日曜版1月22日号）

野党と市民の共闘さらに

共産党大会で3野党・1会派があいさつ

日本共産党第27回大会初日の1月15日、党史上初めて、他の政党・会派があいさつしました。あいさつ要旨を紹介します。

(日刊1月16日付)

違い超え度量と決意で共同を

民進党代表代行 **安住 淳**さん

結算以来、95年という節目の年を迎え、日本の近代化のなかで、先の大戦を含む激動の時代を乗り越えてきた御党に、心より敬意申上げます。昨年の参院選では、野党と市民の共闘という歴史的取り組みにより、1人区をふくめ大きな成果をあげることができました。

近年では、国会運営でも安倍政権に毅然（きぜん）と立ち向かい、政策的にも、10本の法案を両党で共同提案するなど、これまでない共同を続

けてまいりました。
安倍自公政権は、数に
おごり、国民や野党の声
に耳を傾けるという謙虚
な姿勢はなくなりまし
た。今こそ、この政治の
流れを変えないといけま
せん。
わが党と日本共産党の
間には、今なお考え方に



回を

そこで、この政治の
まなびといけま
せん。

先日本共産党の
今なお考え方に
隔たりのある政
策があることは
事実です。安全
保障、エネルギー
、社会保険など
負担のあり方な
どです。完全に
一致するとは
ない。

難しいかもしれません
が「一つひとつのテーマ
について両党が真摯（しんしん）に話し合い、その
考えを尊重しあえば、一
定の幅のなかにはこれらの
政策を寄せあつことは可
能」と私は確信していま
す。

その先に、候補者の一
本化など国民が納得する
選挙協力の形が見えてく
ると思います。

私は本日、わが党を代
表して日本共産党大会に
参加させていただきまし
た。この舞台に立ってい

じています。多くの国民は、強者の論理を振りかざし、右傾化の流れを強め、立憲主義を無視する安倍政権に代わり、弱い立場の人に寄りそい弱に助けられ、もう一つの政治勢力が結束することを強く望んでいるのではないのでしょうか。

わが党は、昨年5月の党員会談や、年末の書記局長・幹事長会談での合意にもつき、来たるべき選挙で、できる限りで

の協力を行うための話し合いを、積極的かつ具体的に加速することをごとお約束申し上げます。

違いをこそさらに強調するのではなく、大局観に立って一致できる点を見いだすこと、その位置と決意で共通の敵に立ち向かうとき初めて、今の政治を動かすことができるのではないのでしょうか。一緒になって、市民とともに政治を変えていく運動に立ちあがろうてはありませんか。

大転換を促した決断に敬意

自由党代表 小沢一郎さん

第27回の党大会開催を心よりお喜び申し上げ、一言お祝い申し上げます。

日本共産党です。昨夏の参院選で、共産党が方針を大きく転換させ、国民のため、安倍政権打倒の

生活を第一に考えた転換す。



意

で上議席を獲得
とは、野党が力
れば必ず結果が
ついてくること
を証明しませう
た。しかし、自
民、公明両党に
3分の2の議席
を取られてしま
ったことを忘れ
てはいけませ
ん。これからも野党が緊
密に、真剣に、誠実に、
誠意をもって心から連携
して共闘しなければ、来
たるべき総選挙に勝利
し、政権交代を実現する
ことはできません。その
ために共闘をさらに2歩
も3歩も前進させ、本当
の野党共闘、市民との共
闘を実現させましょう。

国会では、安倍政権の
暴走は激しさを増し、安
保法、TPP（環太平洋
連携協定）、年金、IR（
統廃型リゾート）など、

数の力による強行採決で、国民の意思と全く反する法案を、次々と成立させました。

このまゝいけば日本は、取り返しのつかない事態に陥つてしまふと思ひます。安保法案に象徵される考え方は日本の平和は守れません。新自由主義が貧富の格差を助長し、地域間格差、雇用格差が広がっています。このまゝ、安倍政権が続けば、国民生活は崩壊の危機を迎えます。

自由党の「自由」は、安倍政権の推進する新自由主義的な放任主義の自由ではありません。国民の生活が第一の政治、自由で公正、開かれた社会が、われわれのめざす究極の目標です。この理念は、皆さんと野党各党の考えとも共有できるものと思ひます。来たるべき総選挙をふまへ、野党がもっと緊密な協力関係を構築して自公政権を打倒し、政権交代をみながら実現しましょう。

共闘さらなる加速を確信

社民党党首 吉田忠智さん

日本共産党総紀95年
第27回大会の二盛会をお
喜び申し上げます。私の
地元の大分では民共大
分県連会の旗びらきが
今、行われております。
しかし私は欠席して、日
本共産党の大会に出席を
させていただきました。
理由は二つあります。
一つは、昨年2月、共
産党の志位委員長に初め
て、わが党の定期大会に
出席していたいただきまし

た。私が出席をしなければ
ば礼を失うことになり
ます。もう一つは、きた
る通常国会、衆議院選挙
で真の野党共闘を達成し
なければならぬからで



国会、衆議院選挙
を共同を達成し
なならないからで
す。

安倍政権は史
上最悪の政権で
す。日本国憲法
を破壊し、国民
生活を破壊する
政権、そして立
憲主義、民主主

義、治安維持法にも通じ
る共謀罪を出そうとして
います。

今年は日本国憲法が施
行されて70年の節目の年
です。一歩も一字も変え
られていません。国民が
変えることを望まなかっ
たからです。日本国憲法
の理念や条文を生かすこ
とこそ安倍政治に対する

ん。衆議院選挙も様子見ではなく、私たちの方から解散に追い込んでいくようなたたかいをしなくてはならないではありませんか。

日本共産党のみなさんは大胆な方針転換をしていただきました。それが参議院選挙における32の人数すべての一本化にさせていただきます。

これはならない。今日では3党と沖縄の風の糸数さんも含めて勢ぞろいしました。協議が加速するものと確信しています。

この大会が、日本の政治の流れを変える第一歩になりますように、心から祈念を申し上げまして、連帯のごあいさつにさせていただきます。

「戦争させない国」力合わせ

沖繩の風代表 糸数慶子さん

はいたい。ぐすーよー、ちゅうがなひら。改めまして、みなさまこんにちは。

日本共産党第27回大会、大変におめでうございます。

沖繩社会大衆党は結成67年目ですが、共産党のみなさんの95周年には、はるかに及びません。ただ、みなさんのお力をいただきながら、国会へ野党から送っていたたくと

いう意味では、「元祖、野党共闘」は沖縄でございませう。

「オール沖縄」で翁長知事を誕生させ、昨年の7月には現職の沖縄担当



ル沖繩で翁長
生ませ、昨年
現職の沖繩担当
大臣に10万6千
票という大差
で、伊波洋一
さんを国会に送
っていたさまし
た。

2016年、
沖繩はやはり基
地問題がネック
として、オスレイベ
ック

まっ、大変な事件がおき
ました。お父さまがおっ
しゃっています。「米軍
の基地を沖繩からなくな
さない限り、この問題を解
決することはできない」
と。その通りだと思いま
す。

初野古に新基地をつくら
せないということ、そ
して、オスレイベック

なさんか、高江にも辺野古にももうしていただい
て、私たちといっしょに
なつてたかっつていた
いでいます。

残念ながら、仲井真前知事の埋め立て承認を取り消すための裁判は敗訴という形になっています。しかし、私たちは名護市長の再選をはじめ、安倍政権打倒のために、野党のみなさんと力をあわせて、戦争させない国、戦争のできない国、日本をつくるためにがんばっていきたい。大会が成功裏におわりますように、お祝いのことはばいさつとさせていただきます。

ド、残念ながら高江にで
きました。が、けっして飛
挙区で新しい基地はつく
ばすことがないというた
たかいを、全国各地から
のわけが共産党のひい
ます。

大会を傍聴する各国の大使・外

大会に出席した大使・外交官と交流する志位和夫委員長（中央）、小池晃書記局長（右）＝1月15日

27回党大会 ス ナ ツ プ



党押し出しポスターのポーズ（手話で「結束」の意）で
志位委員長・小池書記局長を囲む青年代議員＝1月17日

青年大集合

山道のぼり



党大会会場へ歩いて向かう代議員＝1月15日

グッズ好評



党大会記念品売り場は、買い求める代議員で大盛況＝1月15日

愚直、ぶれない



作家
雨宮 処凛さん

あと11年で創刊1世紀、すごいですね。戦前からの歴史を感じます。私は2006年から貧困問題に関わりはじめて、取材の先々で赤旗の記者や共産党の方と出会うようになりました。

この10年で、日本の報道の自由度ランキングは著しく下がり、メディアは自由にもを言えなくなっています。1月に放送された東京MXテレビの「ニース女子」は意図的なデマで沖縄米軍基地建設に反対している人たちをおとしめしました。メディア自身が差別の助長に加担している、めっちゃくちゃな状況です。

私が取り組んでいる雇用や貧困の問題は悪化の一途をたどり、メディアが貧困に慣れつつあると感じますが、「赤旗」はこの問題を先駆けて報道し、愚直にずっと突っ込み続けている。私も愚直に取り組み続けているので、「赤旗」に共感しています。

私と「しんぶん赤旗」

創刊89年に寄せて

1928年2月1日～2017年

1928年に創刊された「しんぶん赤旗」は2月1日、89周年を迎えました。各界から寄せられた談話を紹介します。

沖縄報道心強い



報道写真家
石川 文洋さん

89年前というと、日本は中国での権益拡大のために山東半島、軍隊を派遣していた頃、その後、アジア・太平洋戦争に突入したわけですね。大本営の偽りの情報をそのまま流したうえ、戦争をおこした各メディアに対し、「赤旗」は日本の侵略に反対の姿勢を貫いたんです。

現在、私は次の点で「しんぶん赤旗」を購入しています。

①中東など世界情勢の解説②日本の米軍基地に関する記事③自衛隊の軍拡を示す具体的な数字④秘密保護法、安保関連法、集団的自衛権行使、南スーダン派兵など戦争への道の拒否。権力を批判し庶民の味方となる報道など、他のメディアで掲載されない記事も多く、貴重な資料としてスクラップしています。

辺野古新基地建設、高江ヘリパッド建設反対の報道は、沖縄生まれの市民としても心強く感じています。

庶民の今刻んで



元朝日新聞大阪本社編集局長
新妻 義輔さん

創刊89周年、おめでとうございます。

地方から、日本社会の土台が根っこから変わり始めています。参院選の32全ての1人区や、新潟県知事選で、無党派層の市民と野党が本気で深く深く共闘に取り組んで統一候補を実現。全国に大きな衝撃波を引き起こしています。

普通の市民一人ひとりが自分の頭で考えて動く「参加型民主主義」が日常の風景になりつつあります。「しんぶん赤旗」には追い付いていく。

「赤旗」は地域社会の草の根を足と力を借します。庶民の「声なき声」に真剣に耳を傾け、悩み苦しみを受け止めて、ともに涙し、救いの手を差し伸べる。この取材姿勢が毎日の紙面のベタ記事からトピック記事、コラムまで太い底流として据えられているからです。

貧困・格差、憤りが生んだ深刻なひずみ、吹きつける疾風の中で生きている人たちの「今」を、切り取って紙面に生き生きと刻んでください。

スクラップ53年



東北大学名誉教授
日野 秀逸さん

高校生のときに社会科学の研究を志しました。関連書籍を読んで気づいたのが、一般紙と政党機関紙を読むことの重要性でした。中でも「赤旗」は社会科学の研究に欠かせないと考え、大学に入ってから読み始めました。以来53年。1日も欠かすにスクラップしています。他紙もスクラップしますが、分量が圧倒的に多いのが「赤旗」です。

収入の少ない古典的な貧困をはじめ、社会保障研究の出発点になる生活問題を丹念に取り上げるのが「赤旗」だからです。社会面、経済面、家庭面、文化面もそうです。

生活問題を解決するための社会運動の報道は「赤旗」の独壇場です。小規模な集会も地方版で丁寧に記事にするのは「赤旗」だけです。重要な研究材料を提供してくれました。役立つ資料を知る上では、経済面の「データ」は語る。などが大いに参考になりました。赤旗は事実をきちんと取材しており、信頼できます。大学のゼミ生にも勧めました。

ワクワクの紙面



安保関連法に反対するママの会@ちば千葉県市民連合運営委員
宮本 理恵さん

侵略戦争に反対し、命がけで発行した「赤旗」の歴史はすばらしい一言です。大学に入ってから先陣に勧められ、日曜版を読み始めて35年。日刊紙は参院選で千葉選挙区の浅野史子候補を応援するために読み始めました。政権からの垂れ流しではない、政治や社会の視点を導いてもらいました。

ツイッターやフェイスブックで「赤旗」にスクリーンが出ていて紹介されているとワクワクして紙面を開きました。市民連合の動きも詳しく出ていて参考になります。

「赤旗」は憲法を守り生かそうと、生存権が脅かされている人への視点が厚いと感じています。最上層のデモに参加する若者一人のリアルな声を拾って、しつこく報道しています。

夫婦別姓を認めない民法規定を「合憲」とした最高裁判決を聞いて、怒りの声をそのままだせてもらい、友人が共感してくれました。男女同権をうたった憲法24条を生かす記事がもたらす期待を待っています。

タブーなく真実伝える 「しんぶん赤旗」をご購読ください

日刊紙 多彩なニュース 毎日お届け

「しんぶん赤旗」は、日本共産党の機関紙として、1928年2月1日創刊、いかなる弾圧、迫害にも屈せず、侵略戦争反対、国民主権など、真実の報道を続けてきました。

日刊紙（プランケット判16号）は政治、経済、社会、国際のホットなニュースにとどまらず、スポーツ、文化・芸能、暮らし、囲碁・将棋、行楽など多彩な話題を提供しています。

「タブーなく真実を伝える、国民共同の新聞、として新しい時代を切り開く新聞です。」

日曜版 お得情報、著名人も次つき

「赤旗」日曜版（タブロイド判36号）は、週刊紙で最大部数を誇り、家族みんなで読める新聞です。時々の政治・社会の話題を分かりやすい記事でお届けします。各界の著名人が続々登場。暮らしに役立つお得情報も満載です。



広がる共同を伝える

世界の今と未来を示す



多彩な関心に
応える



政治の偽りを暴く



日刊紙
月3497円
日曜版
月823円

申込先はこちら

電話 03(3403)6111

ファクス 03(5474)8358

党中央委員会、またはお近くの党事務所、党員へ

